

# こじょうライブラリー

第 94 号

2019. 1

名古屋市高年大学

鯖城学園図書室報

## 2018年ベストセラー

平成最後の新年ですが、皆さんはお正月をどのように過ごされたのでしょうか。お雑煮やおせち料理を食べて、初詣に出かけられたのでしょうか。

年末の新聞などでは1年を振り返って、どのような大きなニュースがあったのか10大ニュースとして発表されます。月日が経つと忘れてしまいそうなニュースをもう一度読み返して、今年は事件や事故、自然災害もなく、明るい話題で溢れるようなよい年になることを祈っています。

年間ベストセラーもこの時期に発表されますので、どの本がランクインしているのか楽しみにしています。2018年年間ベストセラーは、漫画 君たちはどう生きるか（吉野源三郎原作）、モデルが秘密にしたがる体幹リセットダイエット（佐久間健一著）、大家さんと僕（矢部太郎著）、ざんねんないきもの事典（今泉忠明監修）、医者が教える食事術（牧田善二著）、ゼロトレ（石村友見著）、  
に来てもアホと戦うな！（田村耕太郎著）などが入っています。

学園には、君たちはどう生きるか、大家さんと僕、続ざんねんないきもの事典、頭に来てもアホと戦うな！の4冊があります。

学園図書室でも、昨年度年間を通してどのような本が読まれているのか調べてみました。最も多く読まれていたのは、おらおらでひとりいぐも（若竹千佐子著）でした。その次は琥珀の夢（伊集院静著）と騎士団長殺し（村上春樹著）でした。その後に続くものは、大家さんと僕（矢部太郎著）、おちゃめに100歳！寂聴さん（瀬尾まなほ著）、万引き家族（是枝裕和著）、羊と鋼の森（宮下奈都著）、酒が仇と思えども（中島要著）、きらきら眼鏡（森沢明夫著）、ハイジュード（小路幸也著）が学園のベストセラーでした。皆さんはこの中の何冊を読まれたのでしょうか。図書室では、皆さんの読みたい本や話題になっている本のリクエストをいただいております。

今年も皆さんのが図書室にお越しになられることをお持ちしております。

（図書室より）

※ 本や図書館にまつわる投稿を700字程度でお待ちしております。

詳しくは、事務室の図書室担当までお問い合わせください。

よく読まれている本  
・そしてバトンは渡された…瀬尾まいこ  
・もう「はい」としか言えない…松尾ス  
あい　て　ズキ  
・すぐ死ぬんだから…内館牧子  
・ヘイジュード…小路幸也  
・おらおらでひとりいぐも…  
若竹千佐子  
・凶犬の眼…柚月裕子  
・ひとつむぎの手…知念実希人  
・きらきら眼鏡…森沢明夫  
・人間に向いていない…黒澤いづみ  
・5時過ぎランチ…羽田圭介  
・なんとめでたいご臨終…小笠原文雄  
・さしすせその女たち…桜月美智子  
・トマト缶の眞実…ジャン・バディスト・マレ  
・大人はなかなか  
いと思っていた…寺地はるな  
・ナナメの夕暮れ…若林正恭  
・万引き家族…是枝裕和  
・おちゃめ  
に100歳！寂聴さん…瀬尾まなほ  
・あやかし草紙…宮部みゆき  
・鏡の背面…篠田節子  
・酒が仇と思えども…中島要  
・葉室麟…蝶のゆくえ  
・燃える波…村山由佳  
・愛なき世界…三浦しをん  
・砂上…桜木紫乃  
・かみさまは小学5年生…すみれ  
・100歳の100の知恵…吉沢久子

※ 10月～12月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	289	182
2年	392	308
OB	743	887
合計	1,424人	1,377冊

新刊図書（10月～12月）

著者名	著書名	出版社名
内館 牧子	すぐ死ぬんだから	講談社
椰月 美智子	さしすせその女たち	KADOKAWA
矢野 隆	大ぼら吹きの城	角川書店
天弥 涼	罪びとの手	KADOKAWA
黒澤 いづみ	人間に向いていない	講談社
俵 万智	牧水の恋	文芸春秋
川口 俊和	思い出が消えないうちに	サンマーク出版
今泉 忠明	わけあって絶滅しました	ダイヤモンド社
五木 寛之	七十歳下の君たちへ	新潮社
葉室 麟	影ぞ恋しき	文芸春秋
本谷 有希子	しづかに、ねえ、静かに	講談社
枠野 俊明	リーダーの禅語	三笠書房
外山 滋比古	思考の整理学	筑摩書房
さだ まさし	銀河食堂の夜	幻冬舎
堤 未果	日本が売られる	幻冬舎

城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書(10月～12月)

著者名	著書名	出版社名
松浦 勝人	破壊者	幻冬舎
おぶうのきょうだい	俺、つしま	小学館
知念 実希人	ひとつむぎの手	新潮社
中山 七里	TAS	集英社
三浦 しをん	愛なき世界	中央公論新社
湊 かなえ	ブロードキャスト	KADOKAWA
北里 紗月	清らかな、世界の果てで	講談社
村山 由佳	燃える波	中央公論新社
若林 正恭	ナナメの夕暮れ	文芸春秋
卵山 玉子	うちの猫がまたへんなことをしている	KADOKAWA
小泉 武夫	超能力微生物	文春新書
村井 理子	犬がいるから	ア紀書房
白川 悠紀	白河大戦争	栄光出版社
宮本 輝	流転の海 第9部 野の春	新潮社
池井戸 潤	下町ロケット ヤタガラス	小学館
平野 啓一郎	ある男	文芸春秋
田村 耕太郎	頭に来てもアホと戦うな	朝日新聞出版
村田 紗耶香	地球星人	新潮社
門井 慶喜	新選組の料理人	光文社
辻村 深月	嗜み合わない会話と、ある過去について	講談社
姜 尚中	母の教え 10年後の「悩む力」	集英社新書
馬弓 良彦	戦場の田中角栄	毎日ワニズ
藤巻 健史	日銀破綻	幻冬舎
谷川 直子	私が誰かわかりますか	幻冬舎
宇佐美 まこと	骨を弔う	朝日新聞出版
姫野 カオルコ	彼女は頭が悪いから	文芸春秋
尾崎 英子	くらげホテル	KADOKAWA
大崎 梢	ドアを開けたら	祥伝社
群 ようこ	咳をしても一人と一匹	角川書店